

社会

原発事故以来 9年ぶりに運動会

東京電力福島第1原発事故で一時、全町避難となった福島県富岡町で5月25日、町立幼稚園や小学校、中学校の合同の運動会が開かれました。町内での運動会は事故前の2010年以来約9年ぶりです。町立富岡第一中のグラウンドには、避難先などからも参加した児童や生徒ら約60人の元気な声が響きました。

中学1年の原田蒼史さんは「地域の人も多くて、とても楽しいです」と話し、小学生の息子2人の応援に来た会社員の安齊三千人さんは「町民同士の交流の場にもなる」と笑顔でした。

政府は11年3月の原発事故の後、富岡町を住民の立ち入りを制限する避難指示区域にしました。避難指示は17年4月に一部を除いて解除され、昨年4月には町内で小、中学校が再開しました。ただ、今も住民の一部は約50*離れた福島県三春町に避難し、小、中学校は三春町と町内の2校に分かれて授業をしています。



福島県富岡町で開かれた9年ぶりの運動会で玉入れをする児童ら 5月25日

名前【 】

- ① 2011年3月に東京電力福島第1原発事故が起きました。その後、政府は富岡町をどんな区域にしましたか。

[]

- ② 原発事故以来約9年ぶり富岡町で開かれたのは何ですか。

[]

- ③ 現在、富岡町の小、中学校はどのように授業をしていますか。

[]

- ④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

[]